

令和元年度 児童生徒の生活習慣病予防対策 肥満統計の概要と考察

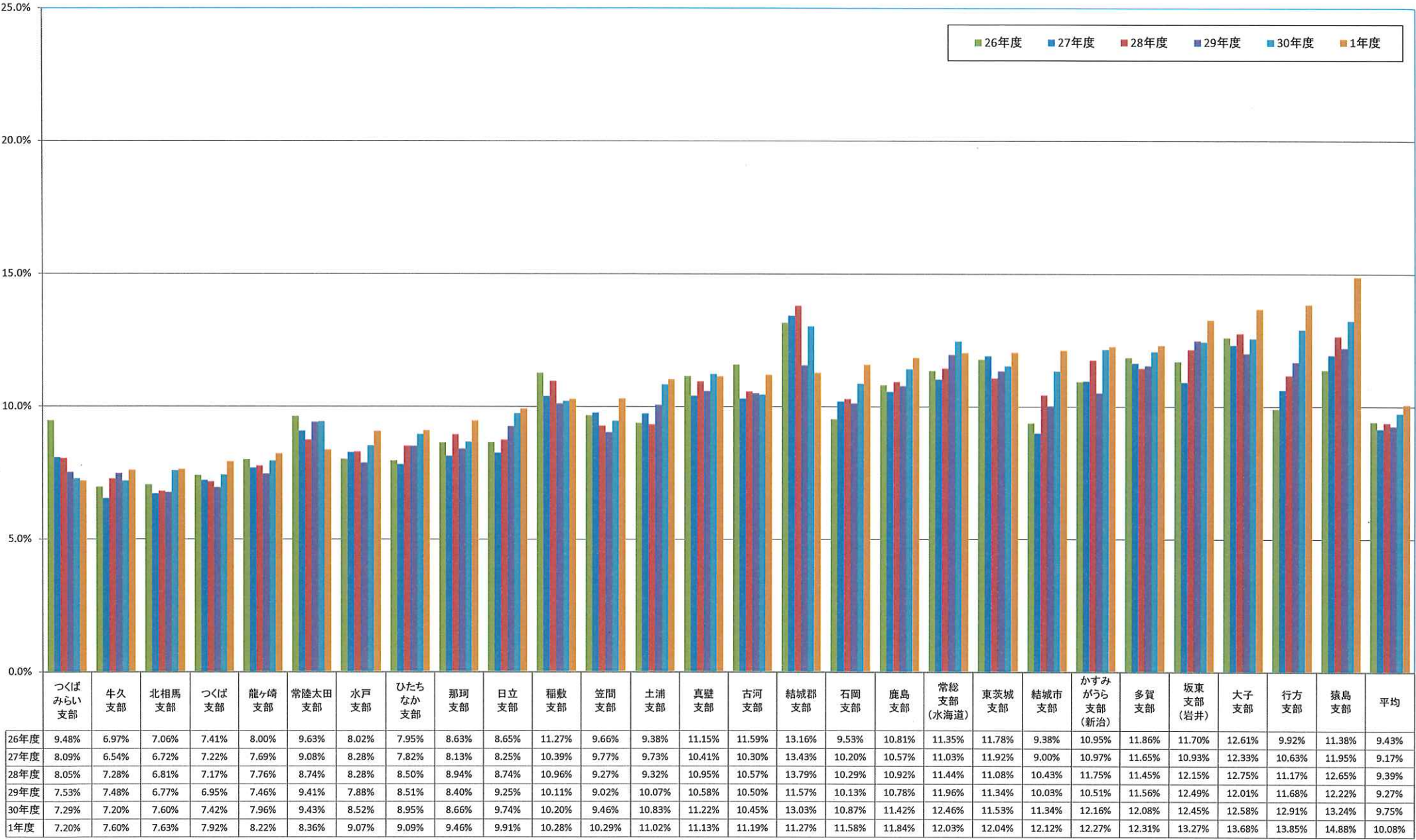
目次

1. 支部別肥満児の割合[小学校]	図1,図2,図3	9. 支部別男女やせの割合[小学校]	図28	17. 男女別肥満児・高度肥満児の割合の推移[小学校]	図4
2. " [中学校]	図5,図6,図7	10. " [中学校]	図29	18. " [中学校]	図8
3. 支部別高度肥満児の割合[小学校]	図16・17	11. 同一集団やせの9年間経時推移[男子]	図32	19. 肥満調査結果の考察	
4. " [中学校]	図18・19	12. " [女子]	図33		
5. 同一集団の9年間の経時推移[男子]	図14	13. 学年別肥満児の全国との比較[男子]	図34		
6. " [女子]	図15	14. " [女子]	図35		
7. 支部別やせの割合[小学校]	図23	15. 学年別やせの全国との比較[男子]	図36		
8. " [中学校]	図24	16. " [女子]	図37		

※詳細は各支部学校保健会事務局送付のCDをご覧ください。(抜粋のみ掲載)

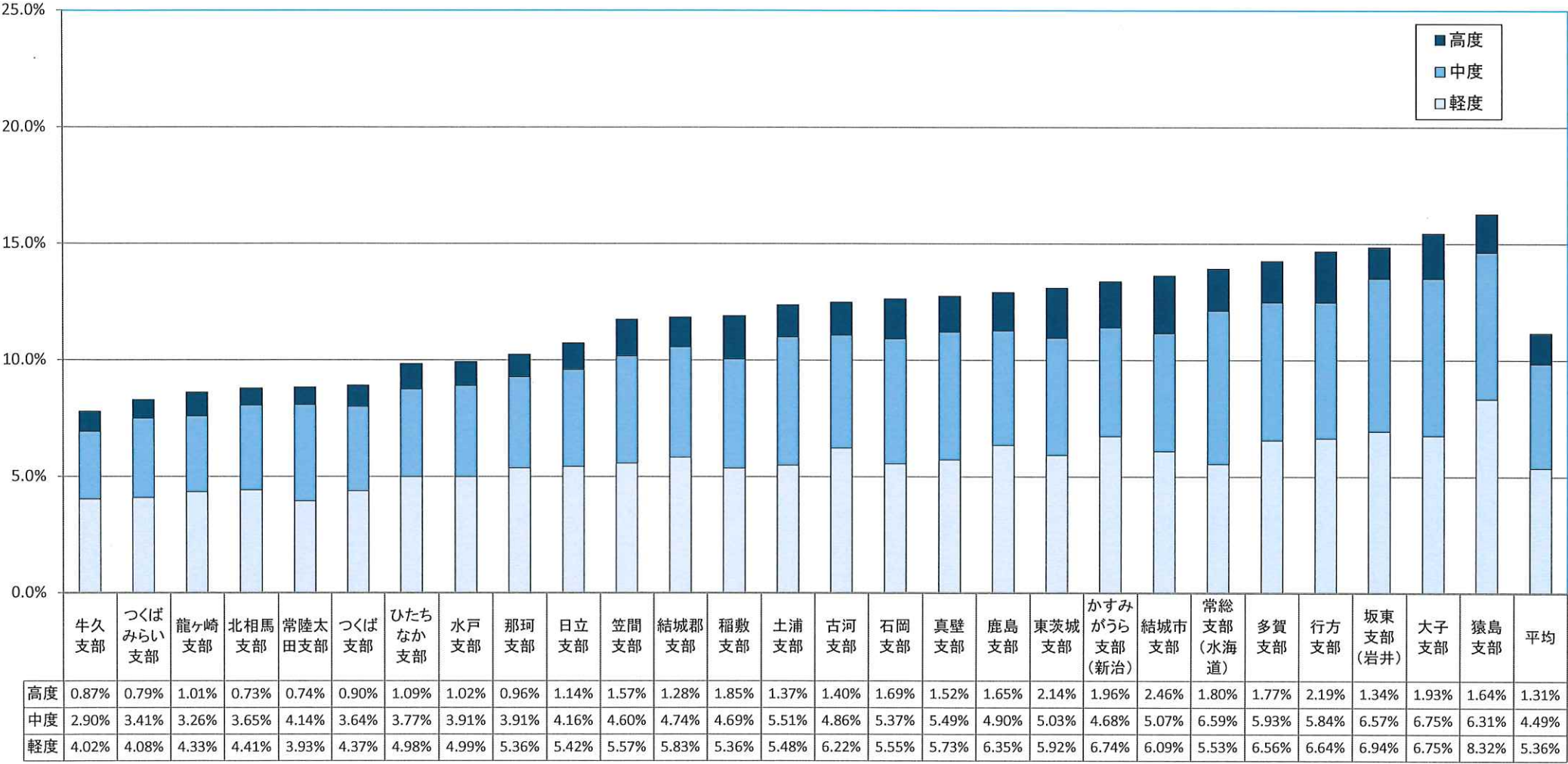
令和元年度支部別肥満児の割合[小学校・H26～R1年の6年間]

図 1



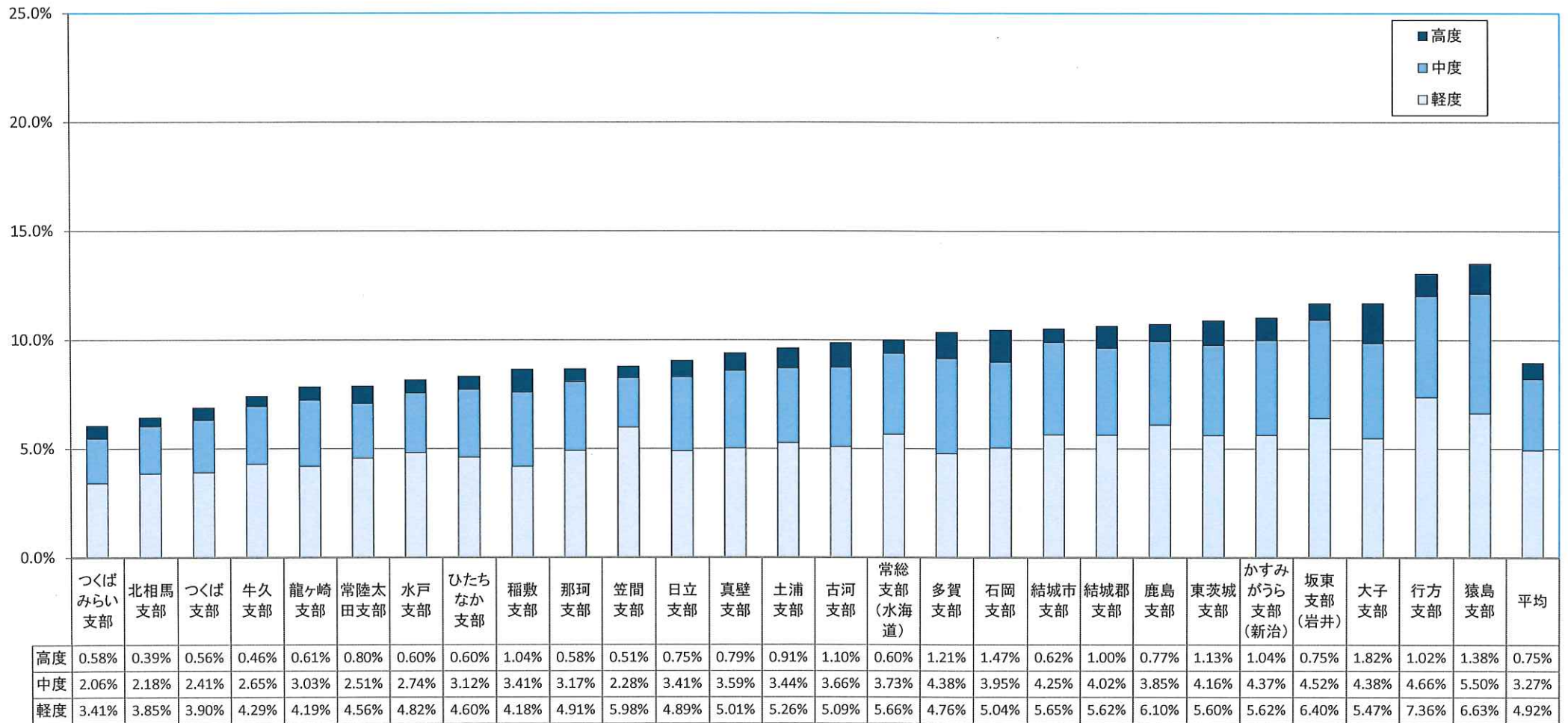
令和元年度支部別肥満児の割合〔小学校男子〕

図2



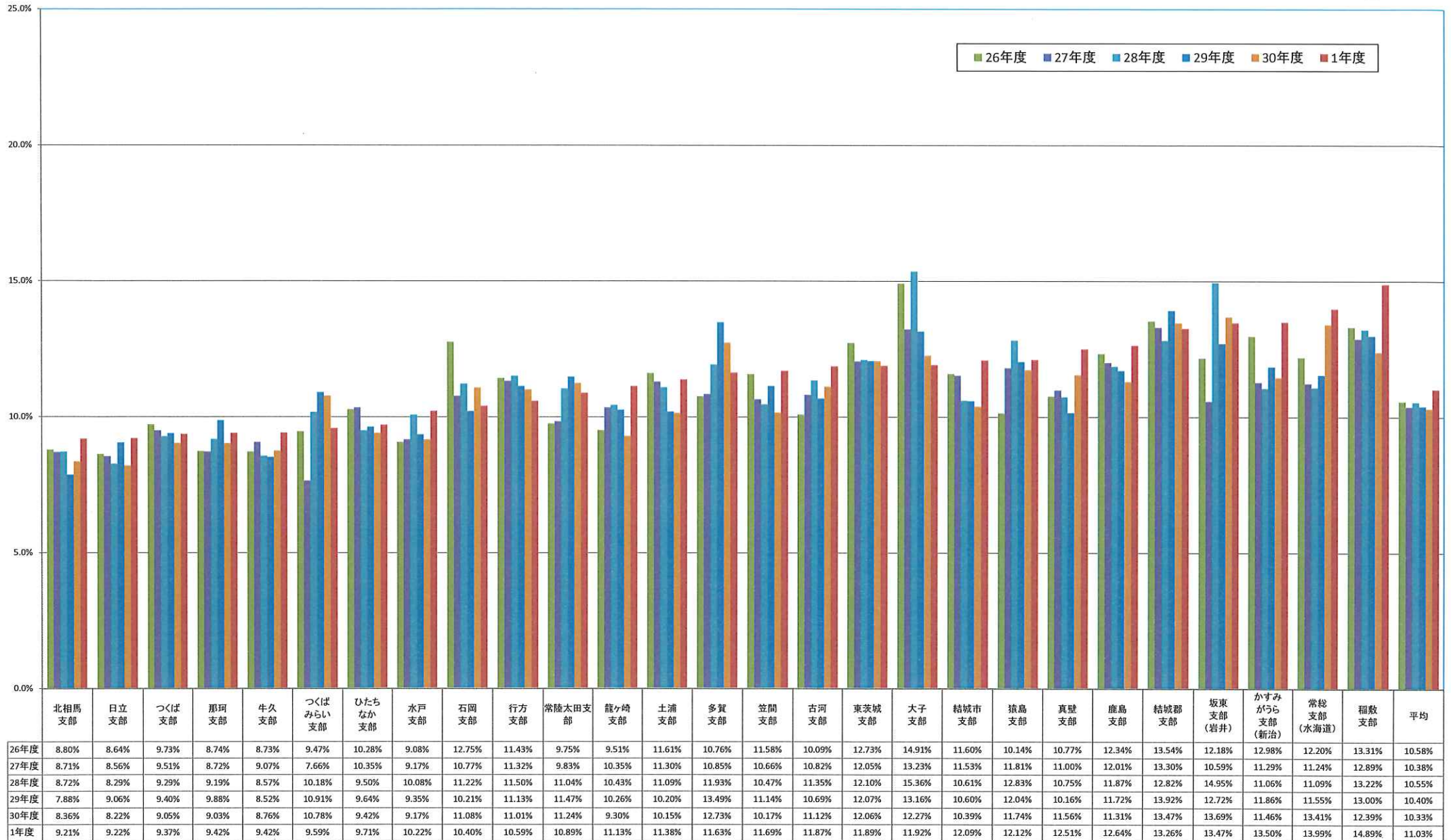
令和元年度支部別肥満児の割合[小学校女子]

図3



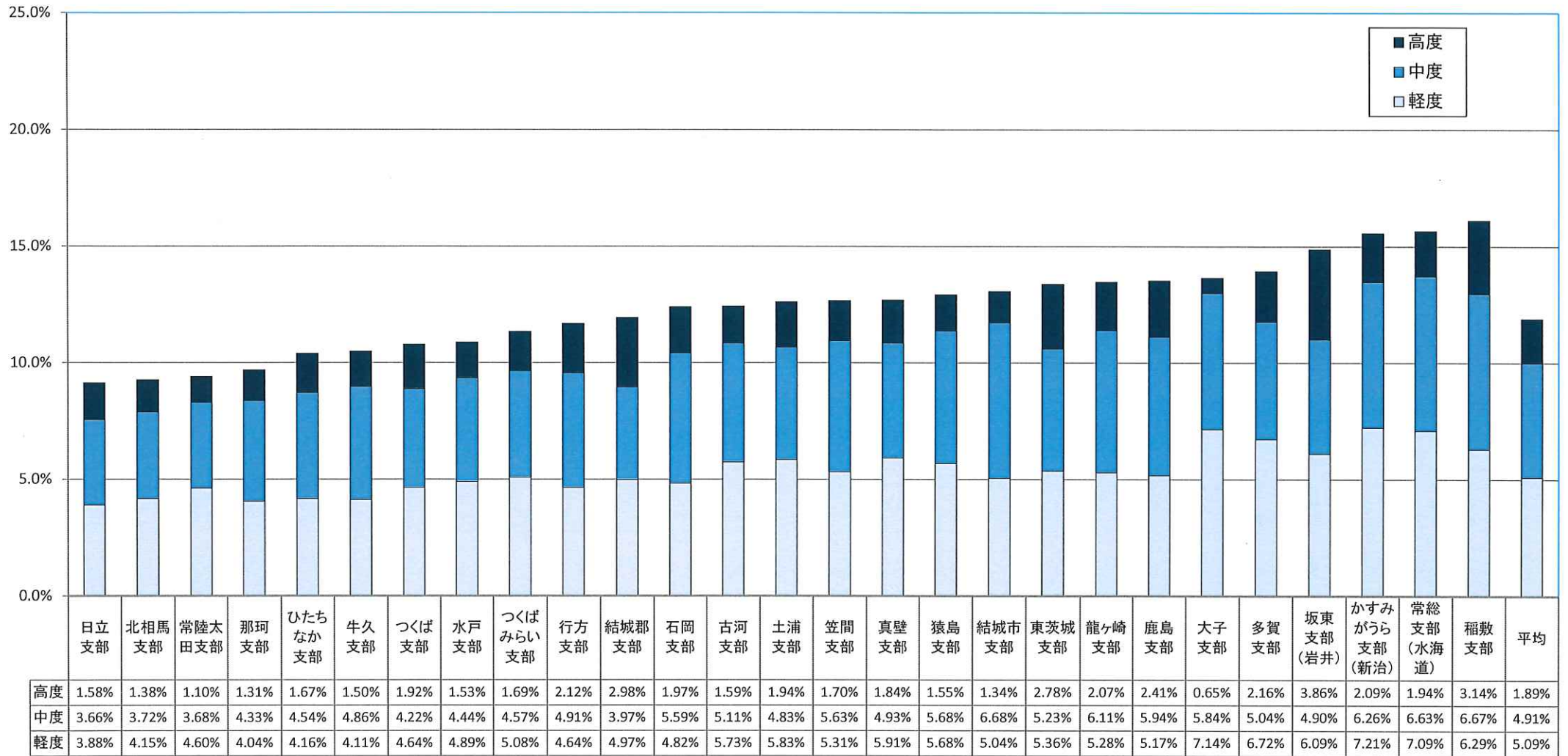
令和元年度支部別肥満児の割合[中学校・H26～R1年の6年間]

図5



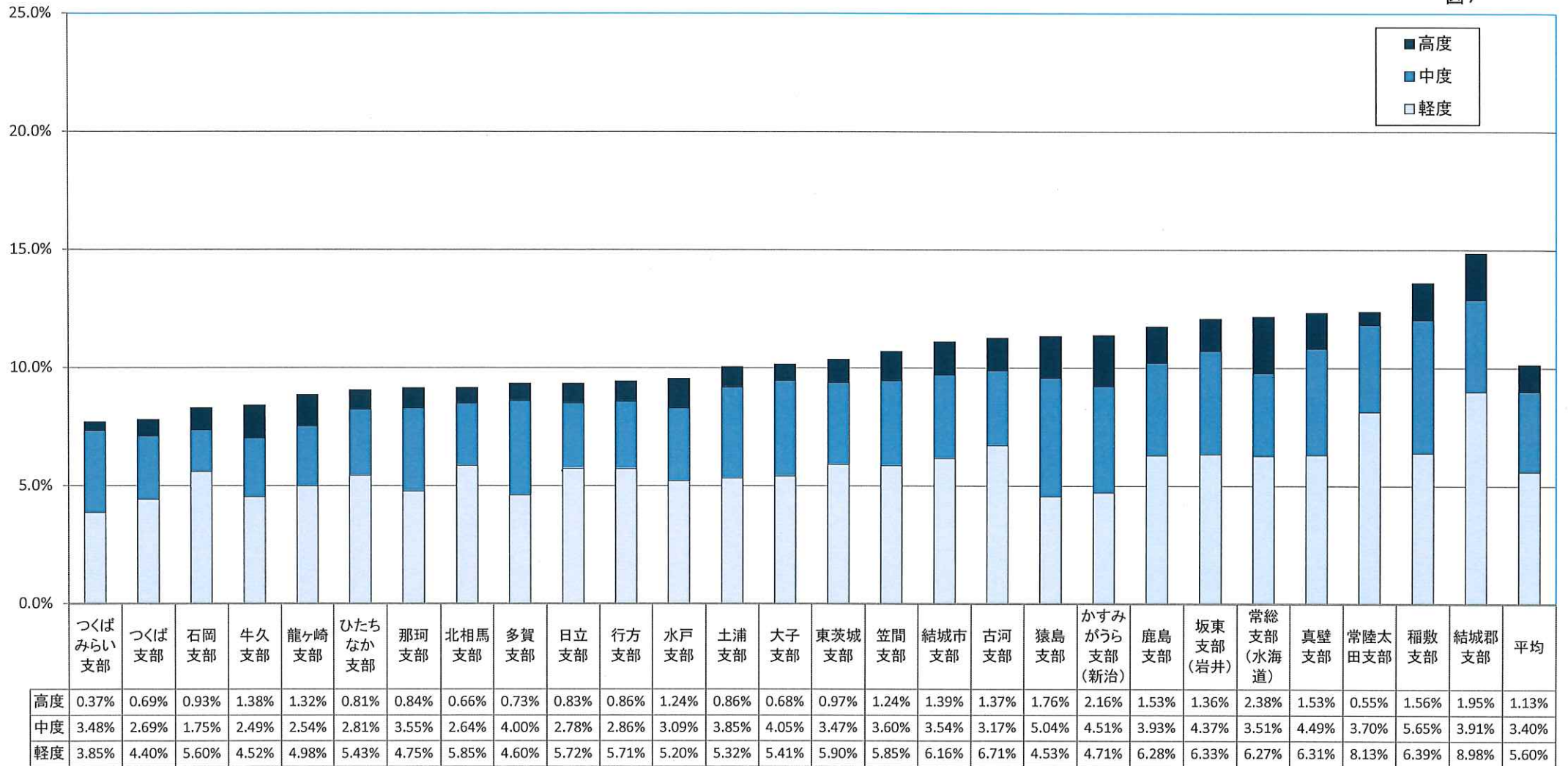
令和元年度支部別肥満児の割合[中学校男子]

図6



令和元年度支部別肥満児の割合〔中学校女子〕

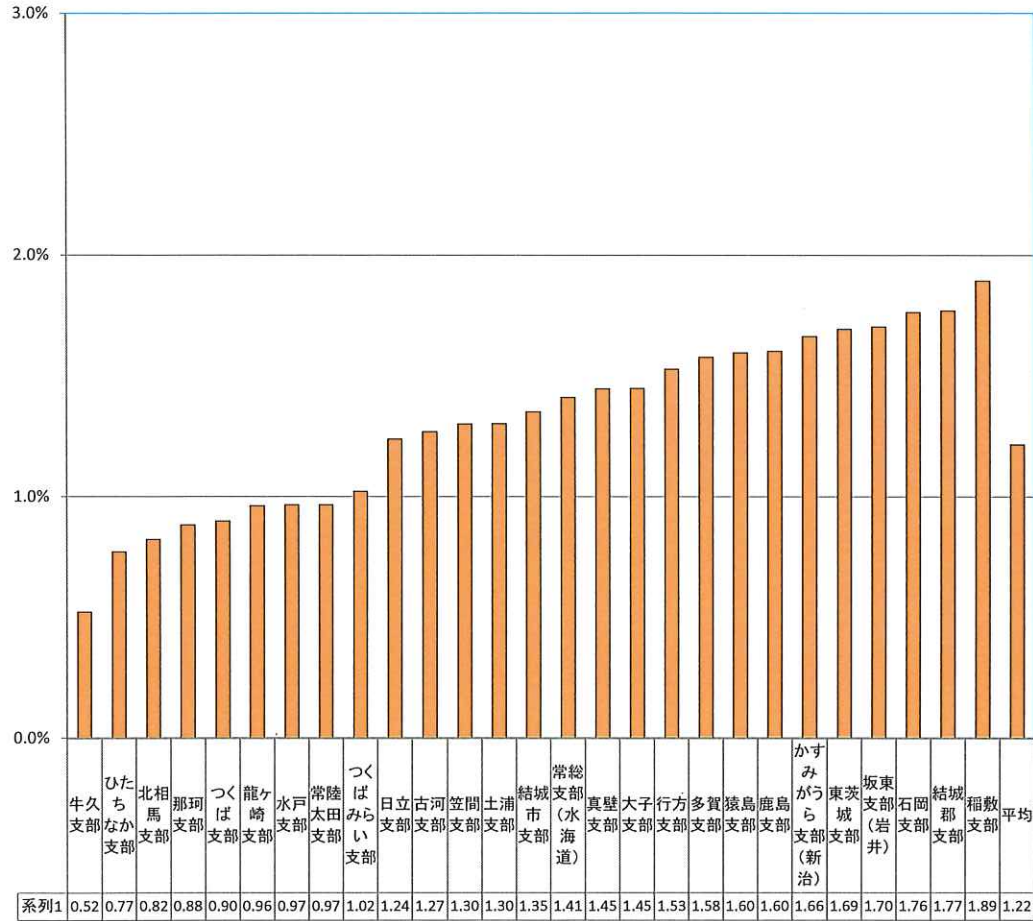
図7



令和元年度支部別6年間の高度肥満児の割合平均値[小学校]

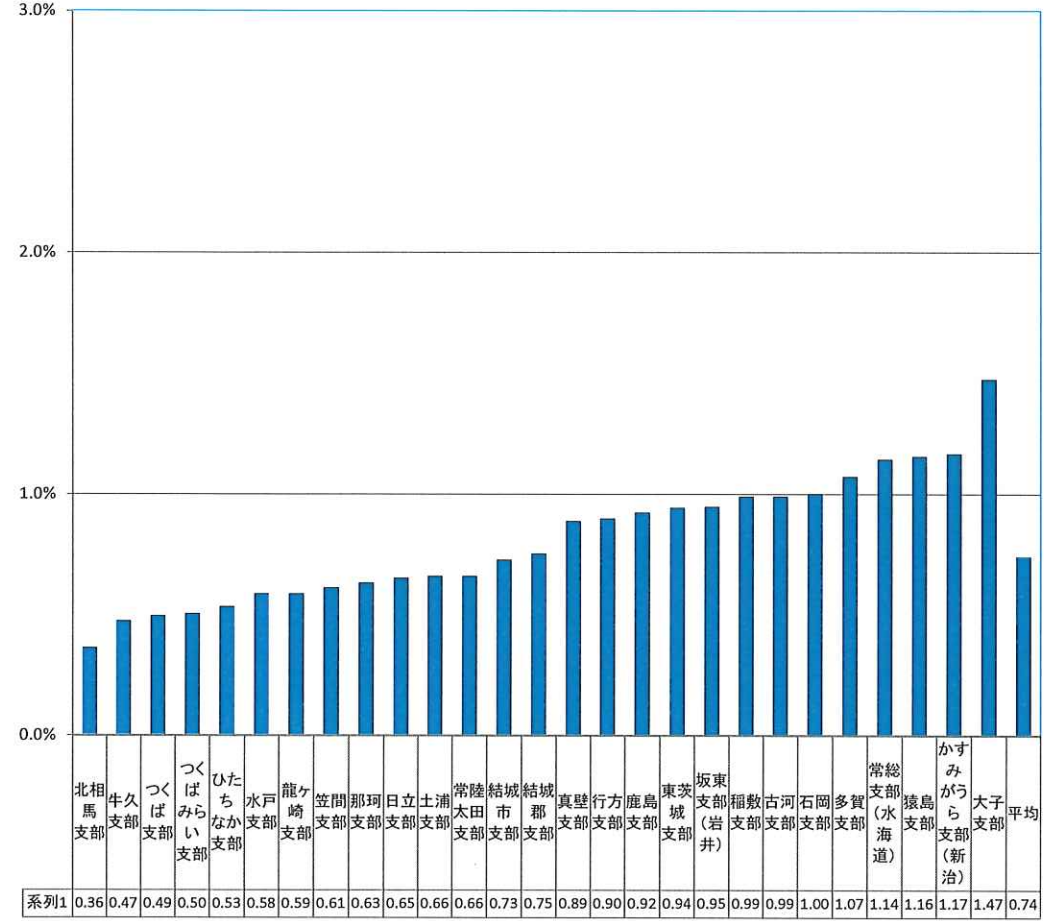
[男子]

図16



[女子]

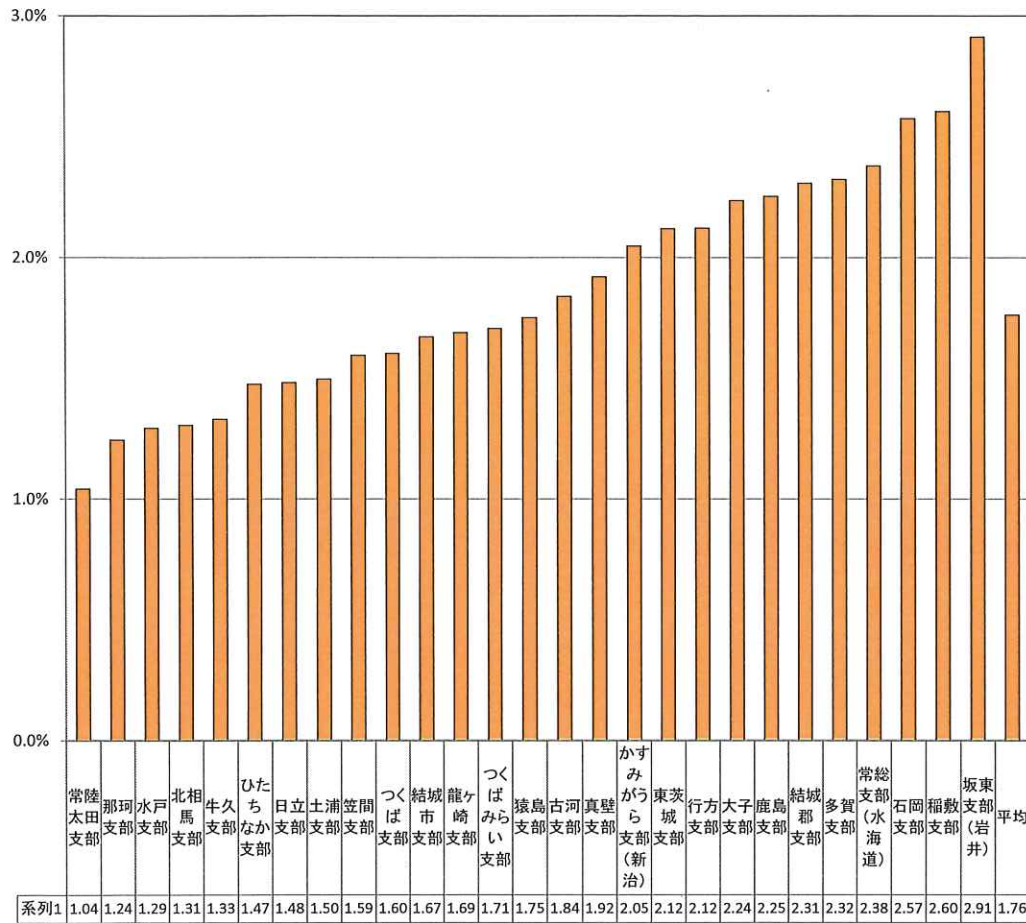
図17



令和元年度支部別6年間の高度肥満児の割合平均値[中学校]

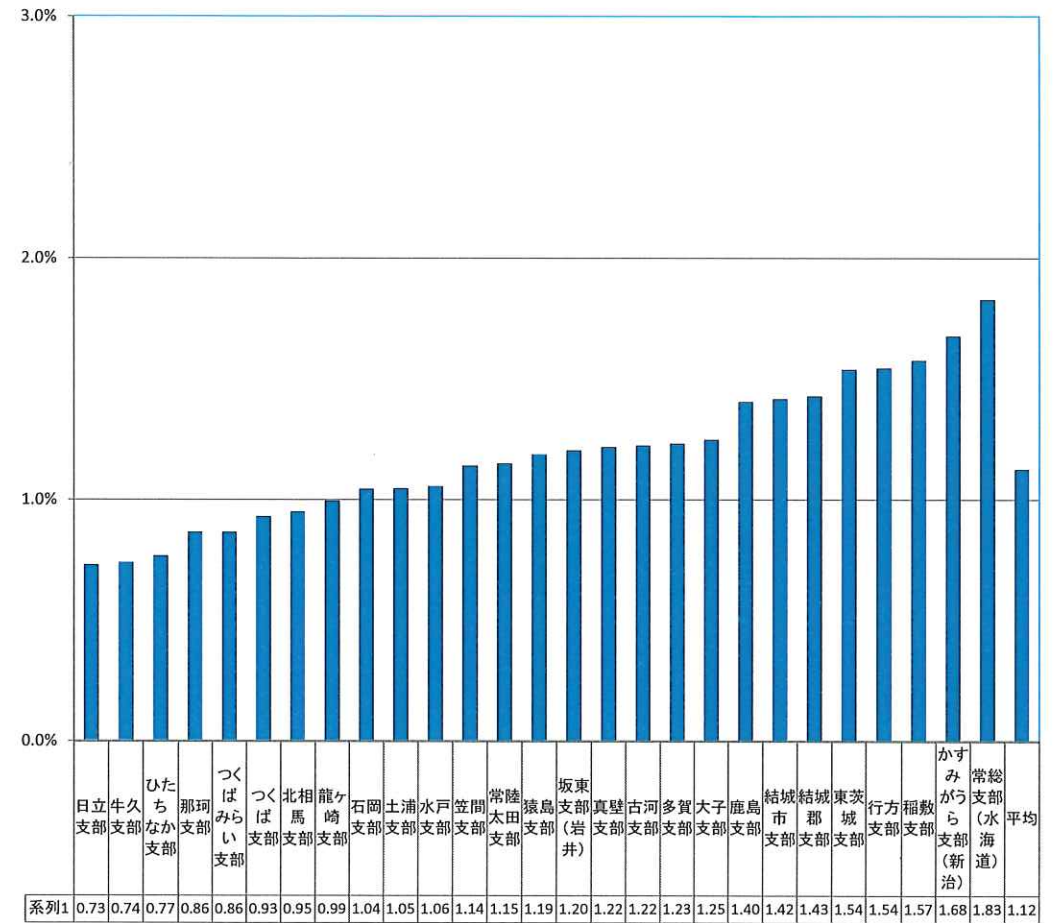
[男子]

図18



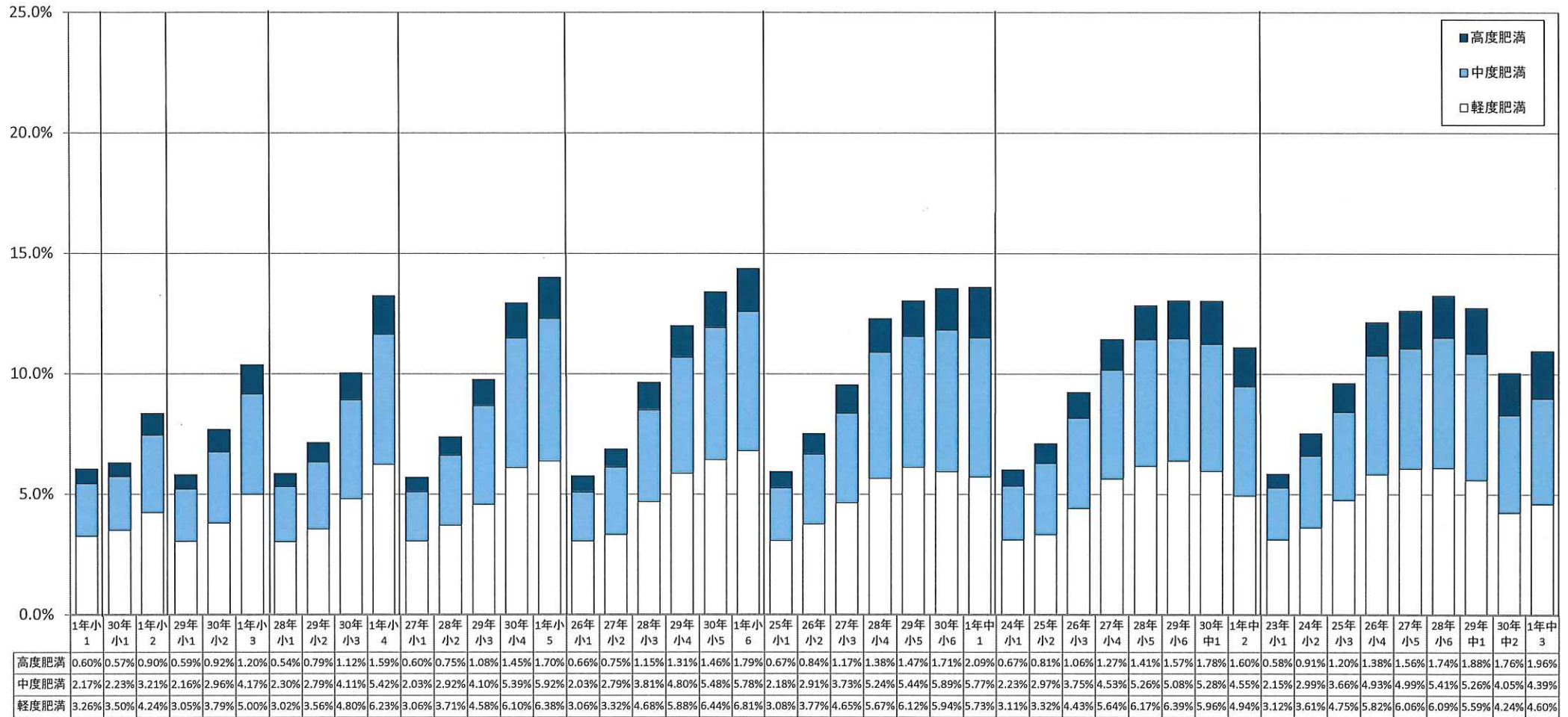
[女子]

図19



同一集団の9年間の経時推移[男子]

図14



同一集団の9年間の経時推移[女子]

図15

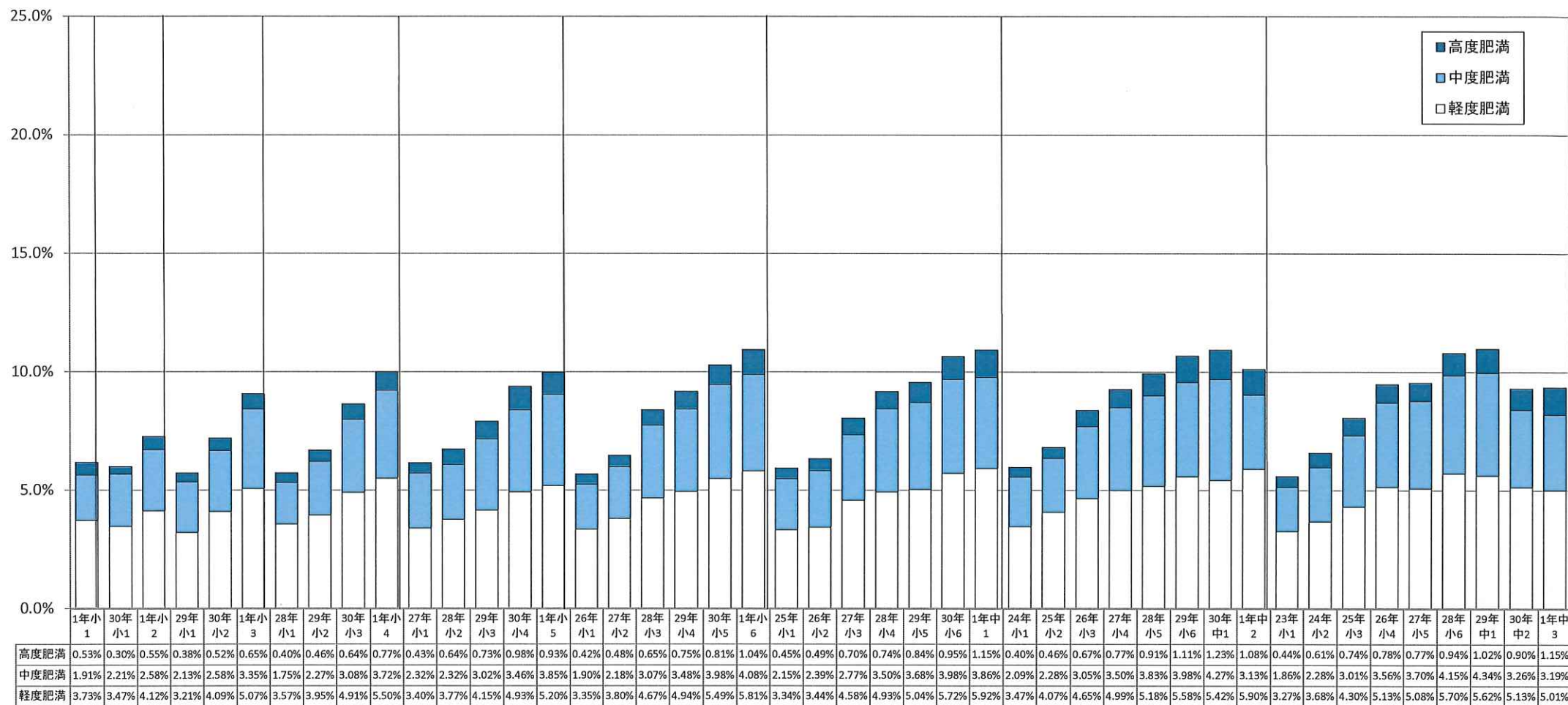
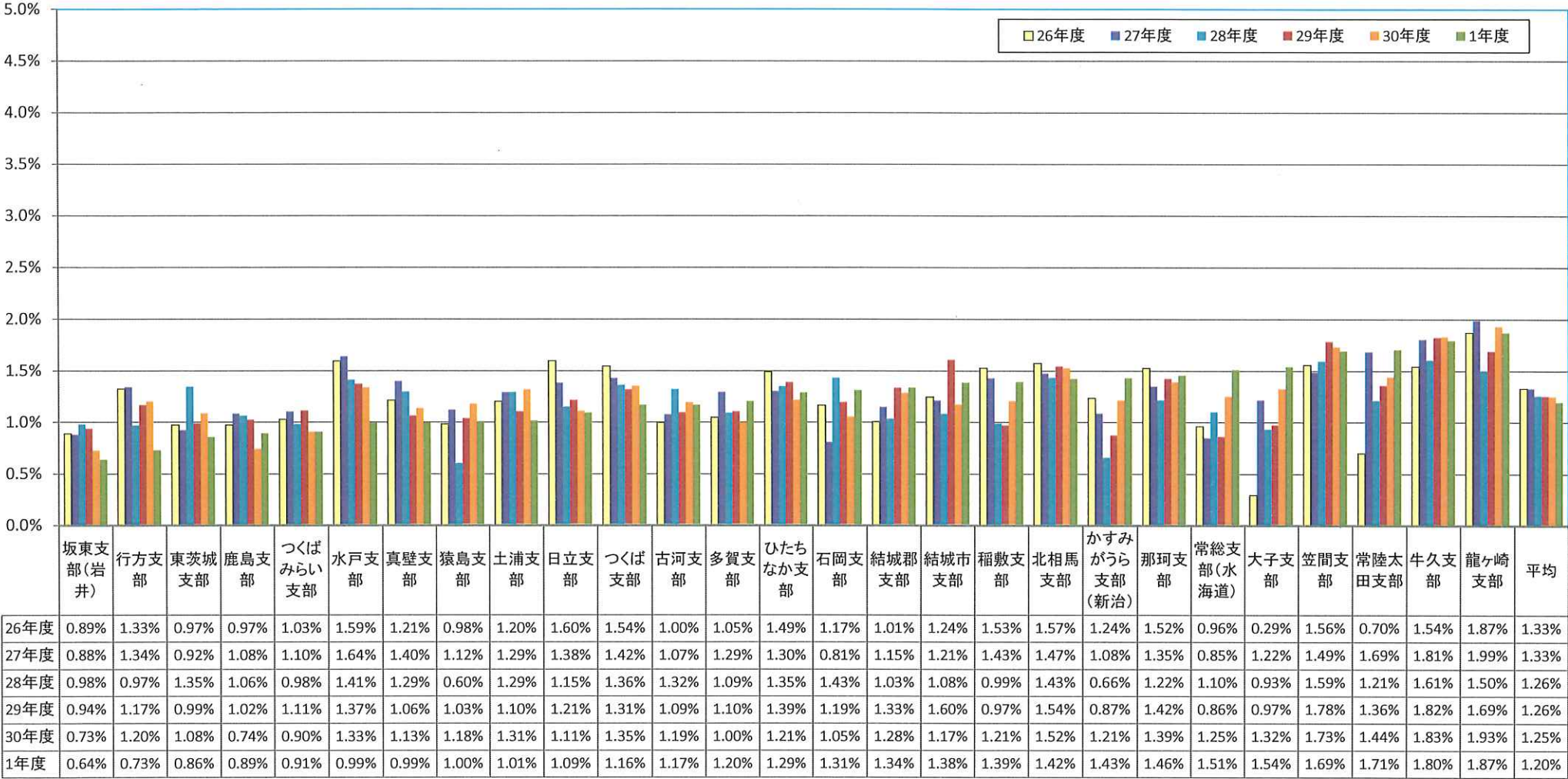


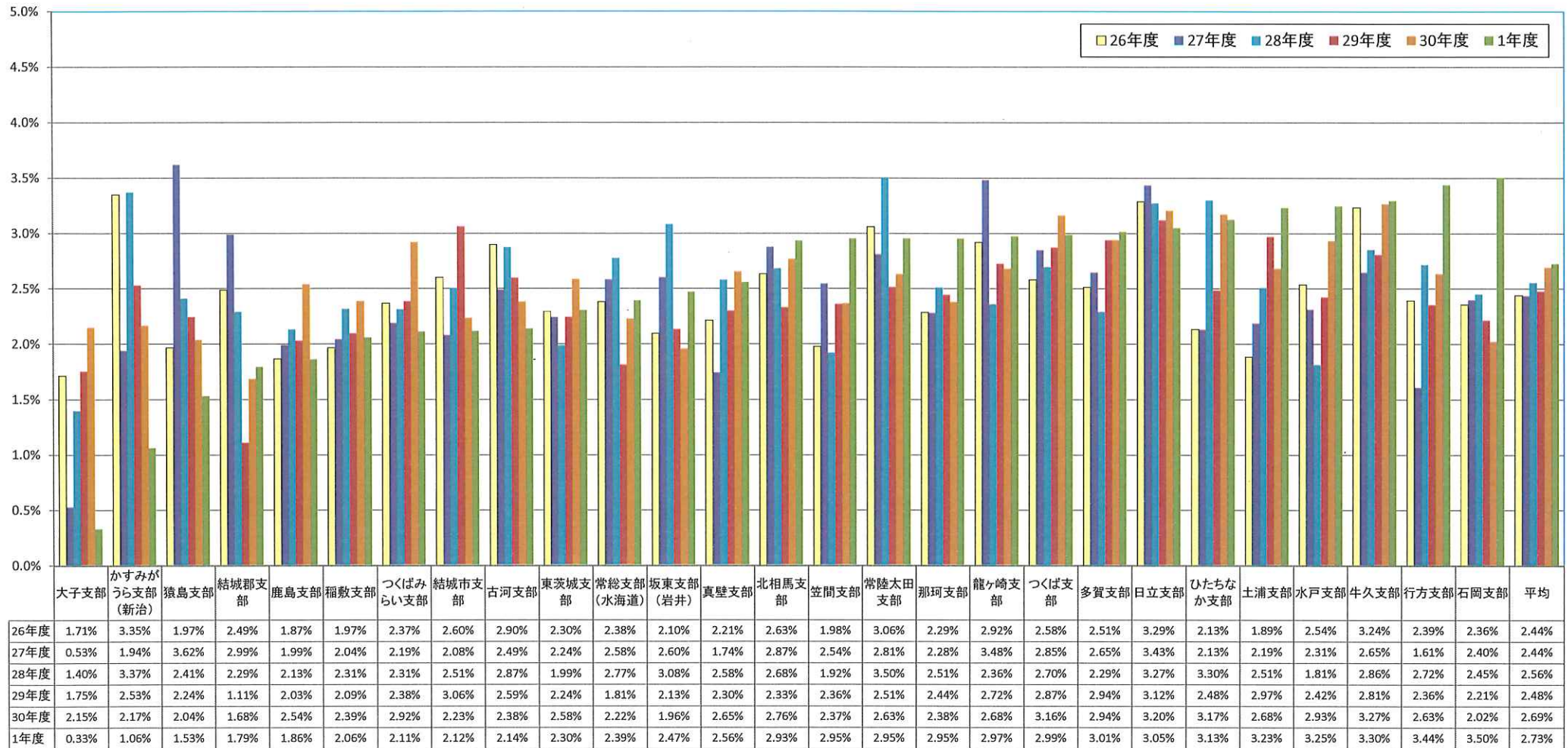
図23

令和元年度支部別やせの割合〔小学校〕



令和元年度支部別やせの割合〔中学校〕

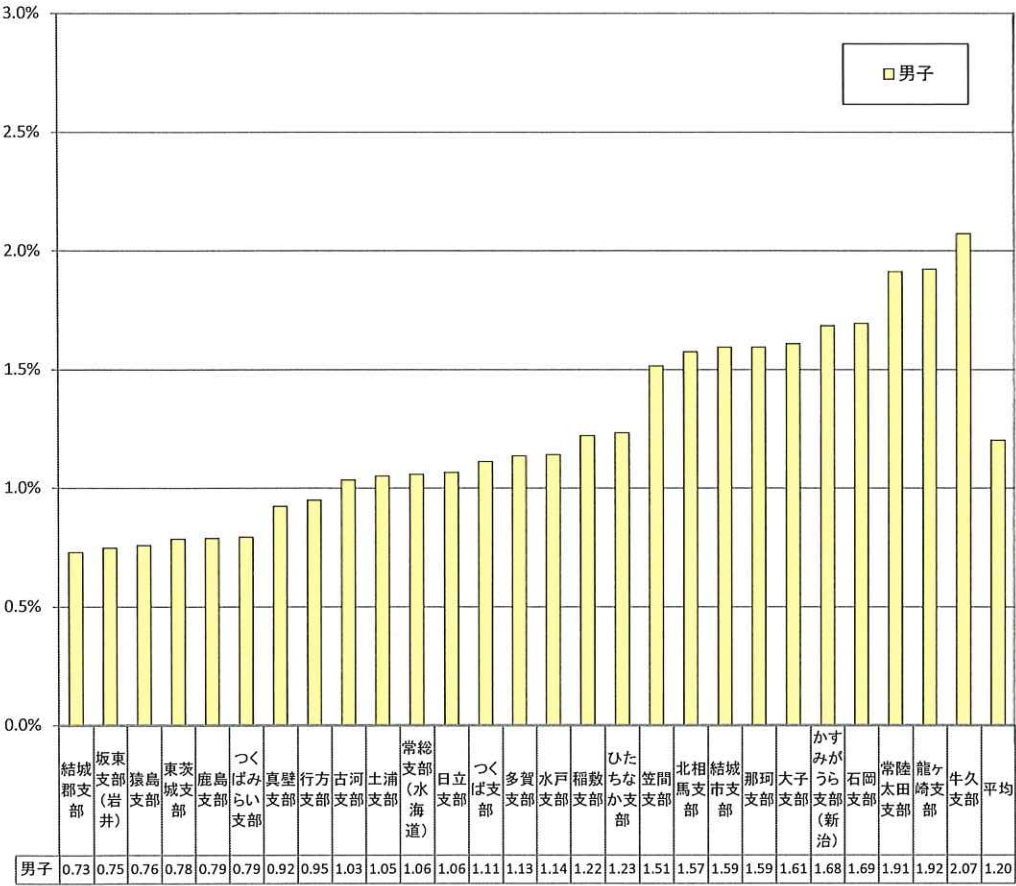
図24



令和元年度支部別やせの割合〔小学校〕

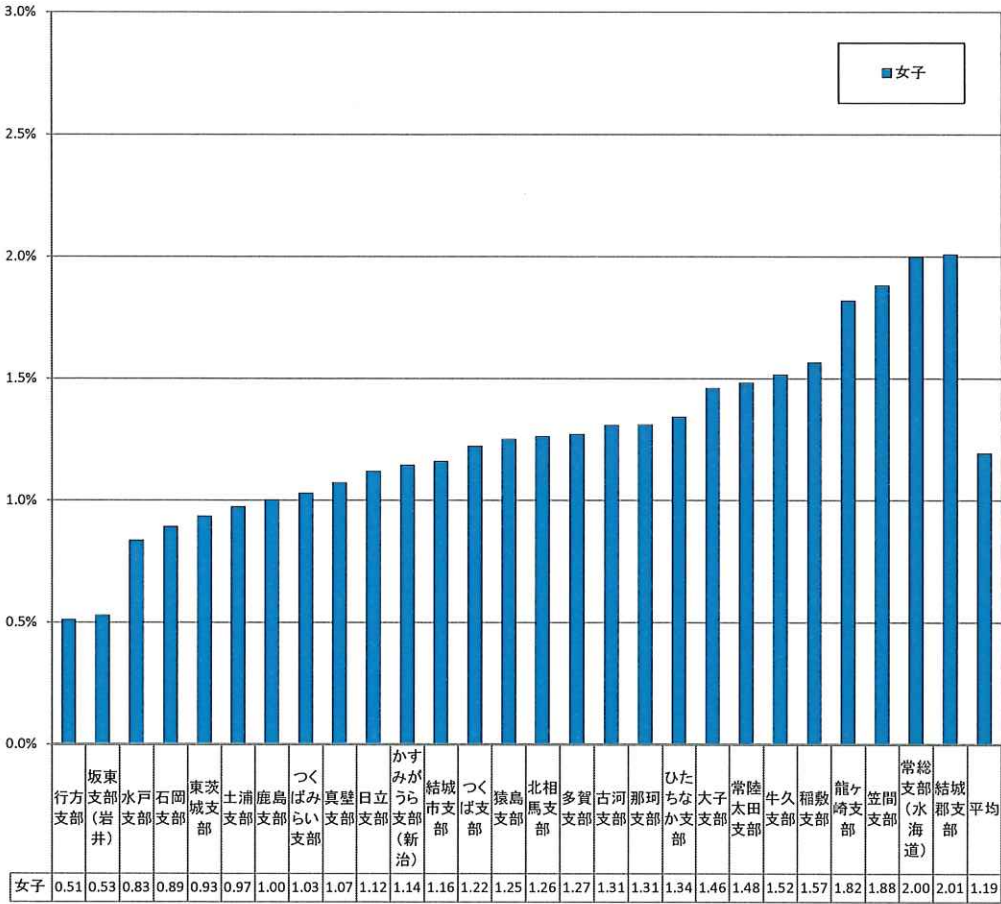
〔男子〕

図28-1



〔女子〕

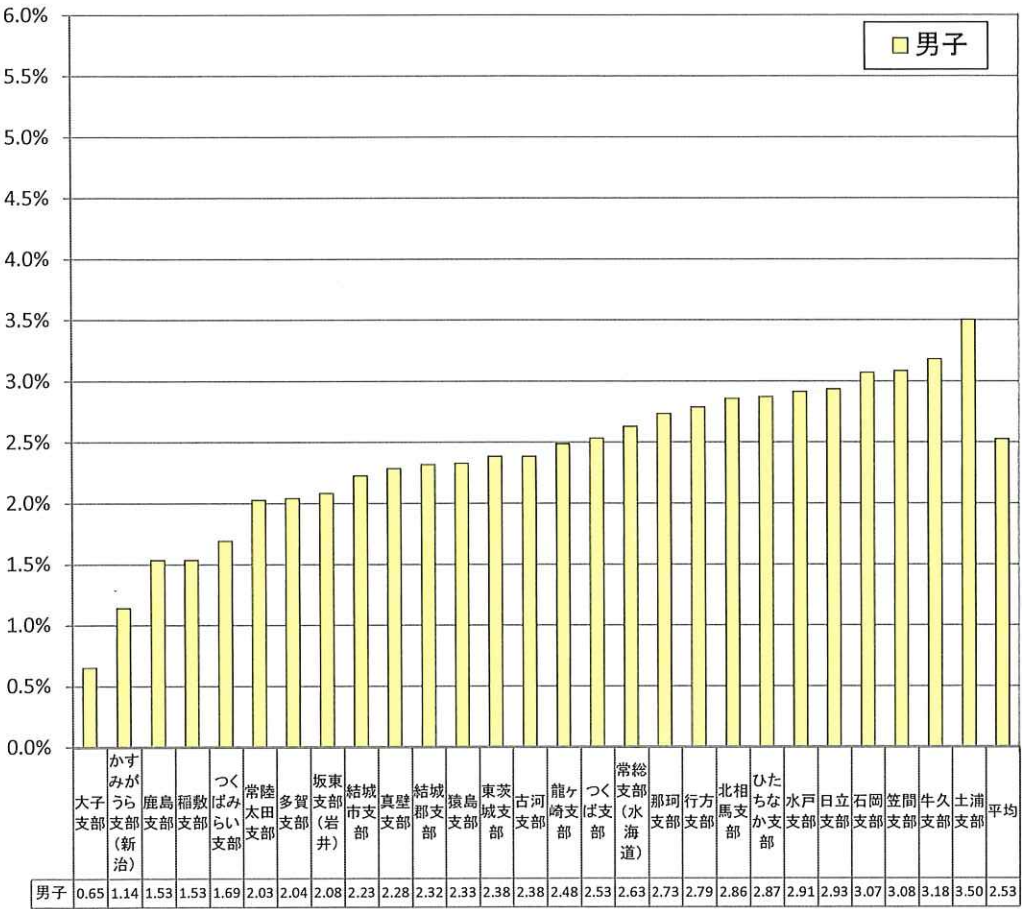
図28-2



令和元年度支部別やせの割合[中学校]

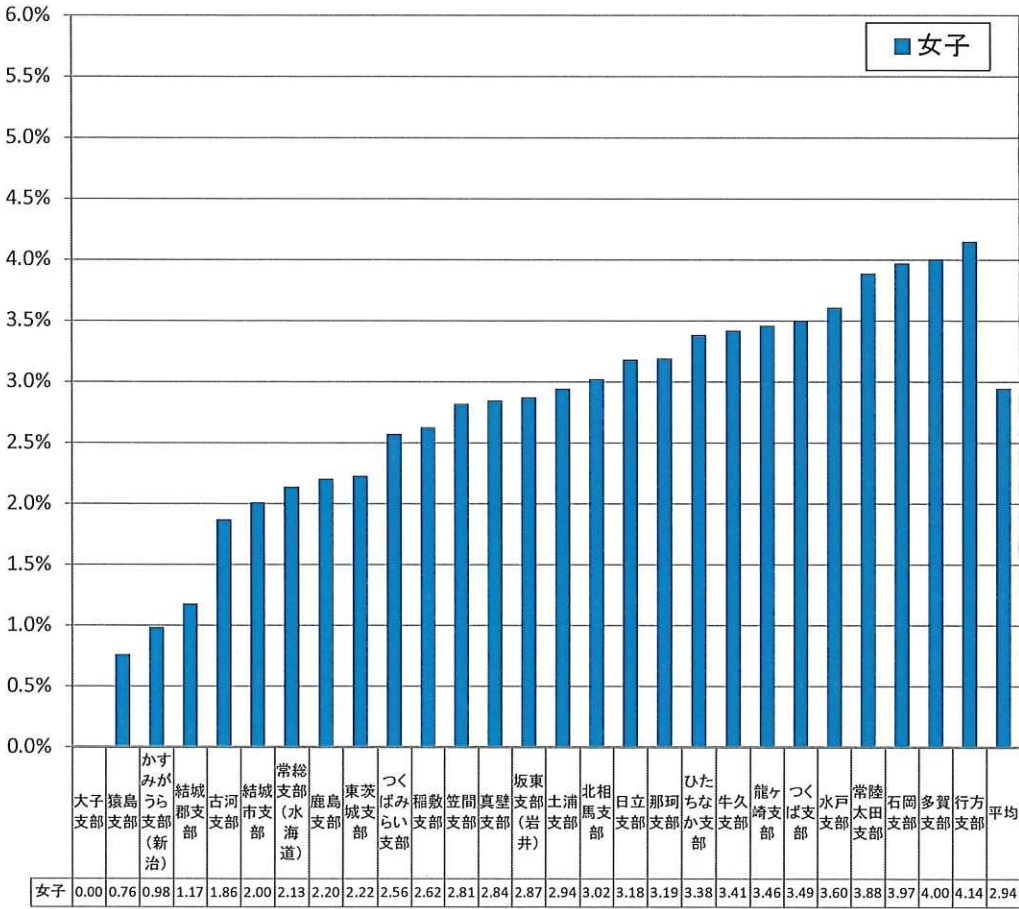
[男子]

図29-1



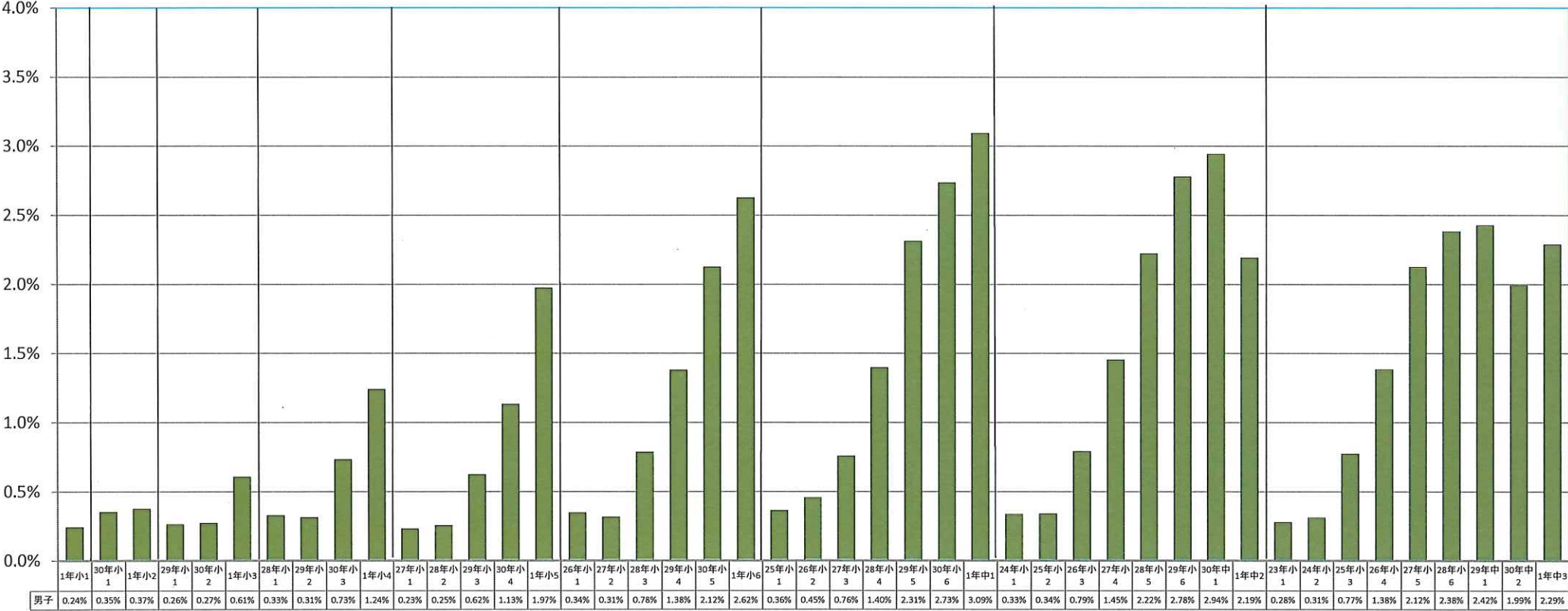
[女子]

図29-2



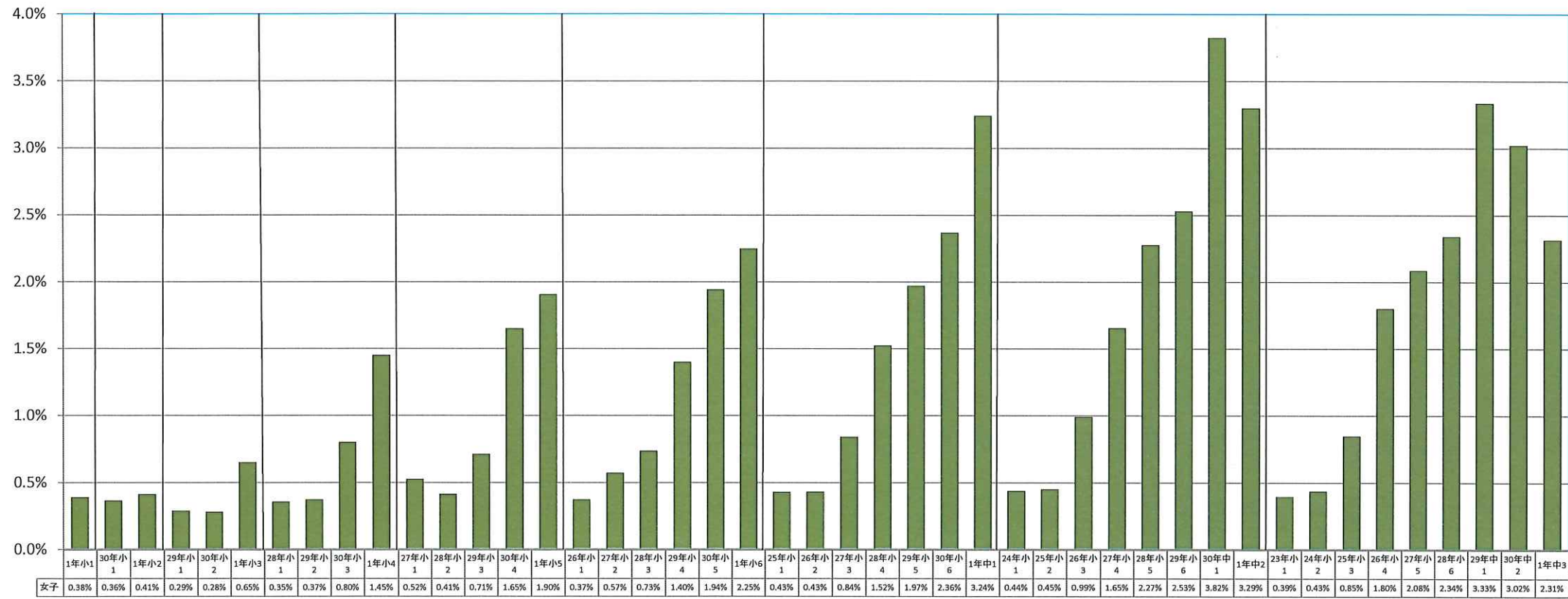
同一集団のやせの9年間の経時推移[男子]

図32



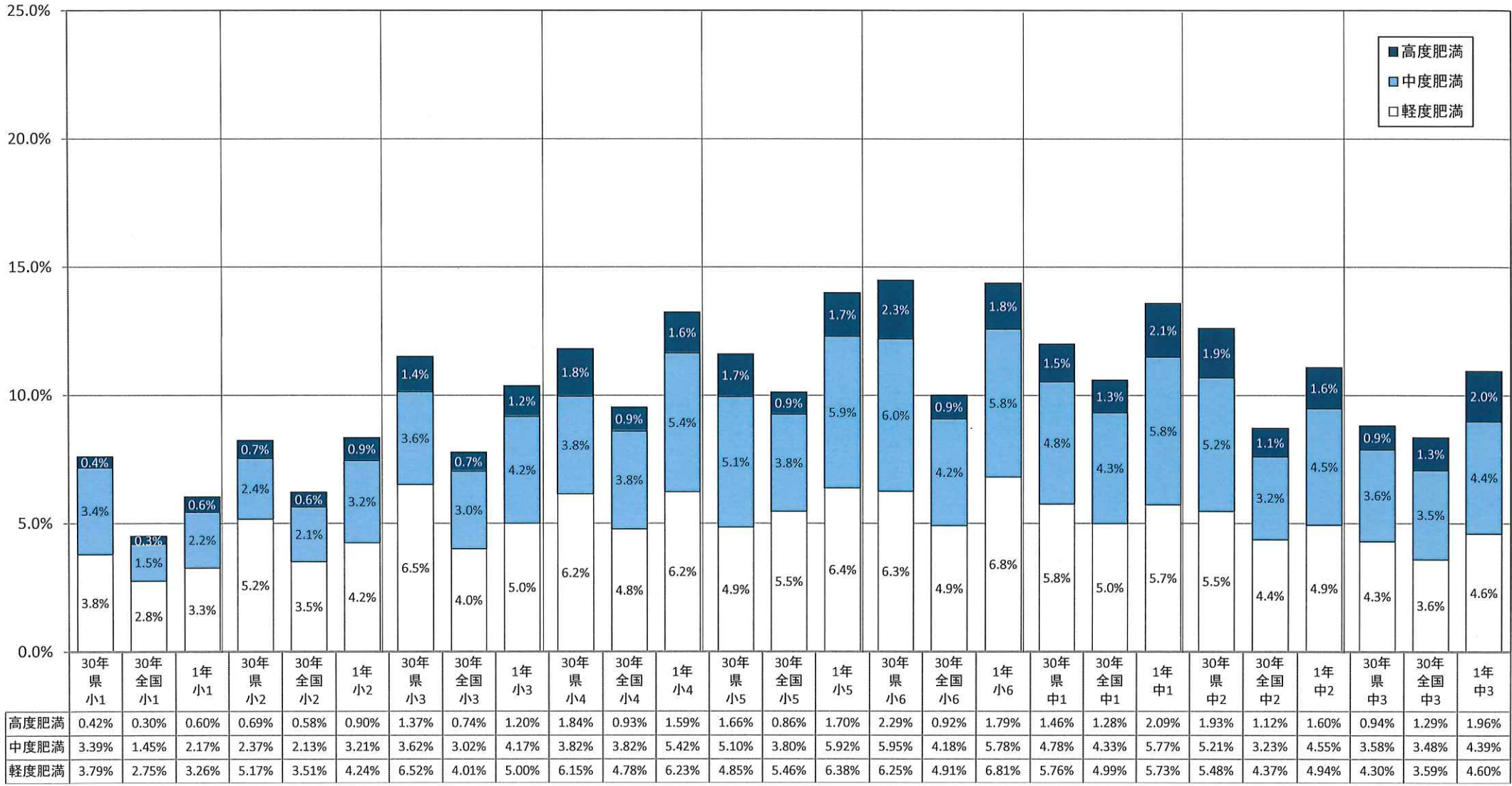
同一集団のやせの9年間の経時推移[女子]

図33



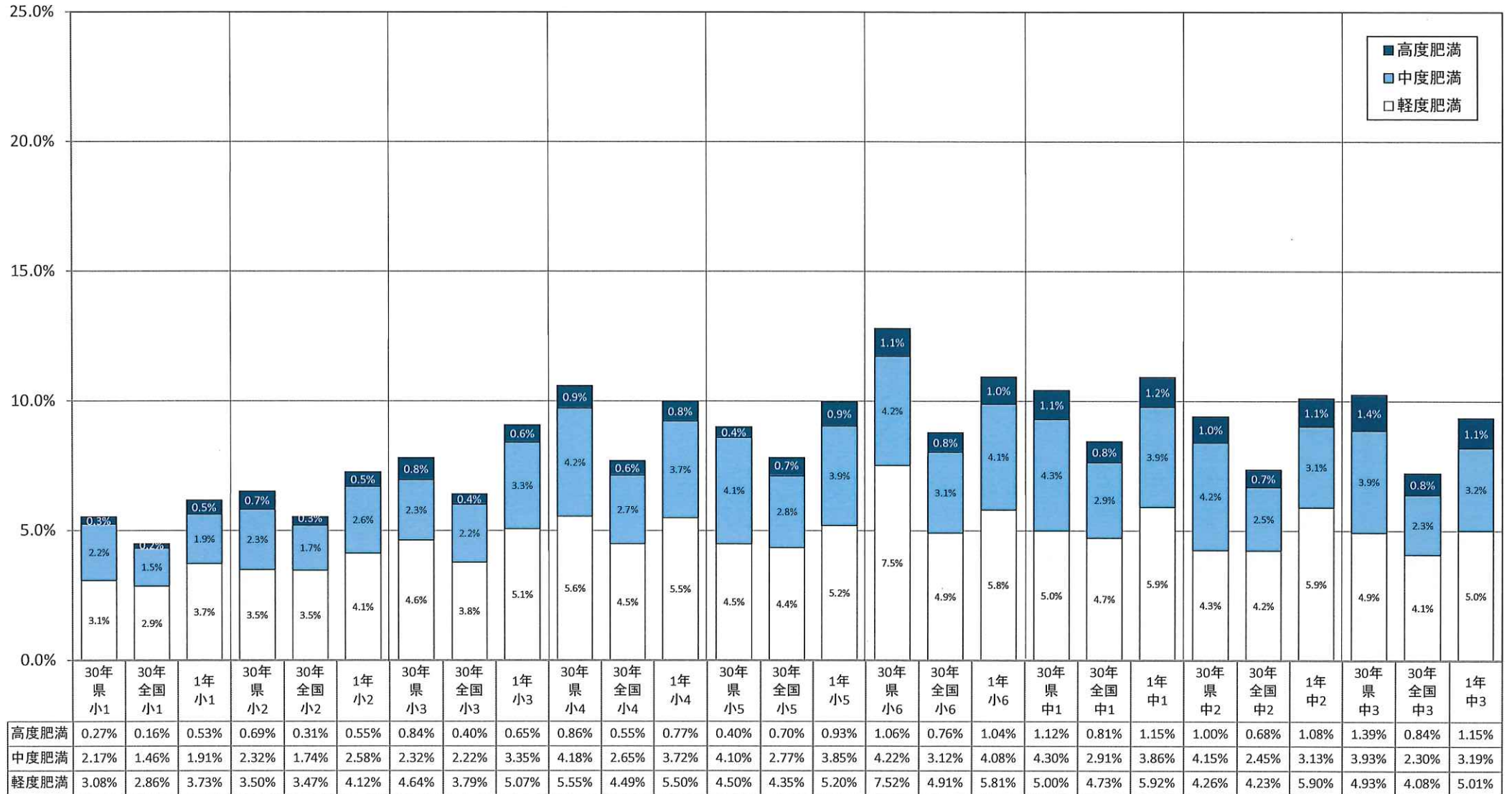
令和元年度学年別肥満児の全国との比較[男子]

図34



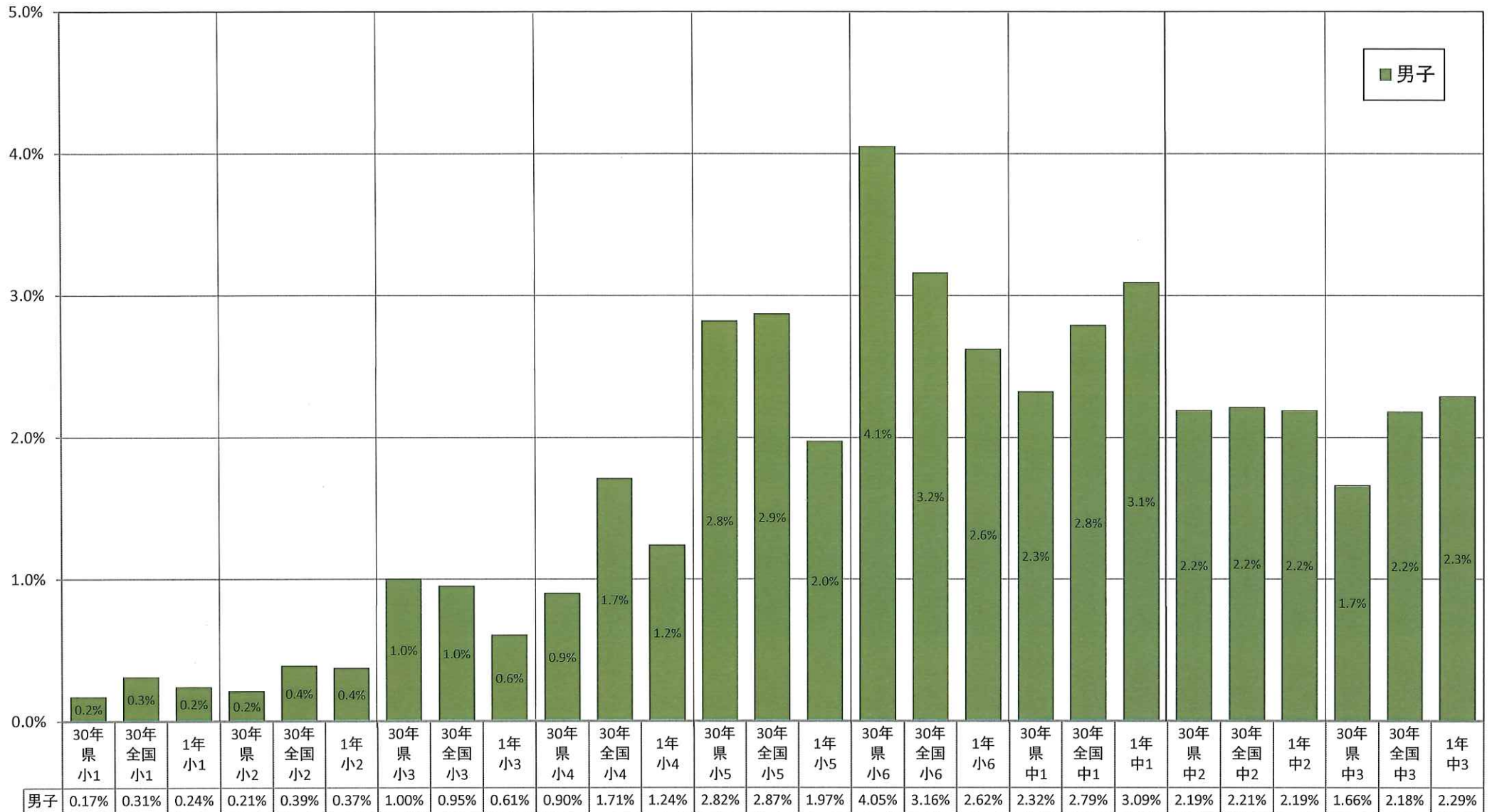
令和元年度学年別肥満児の全国との比較[女子]

図35



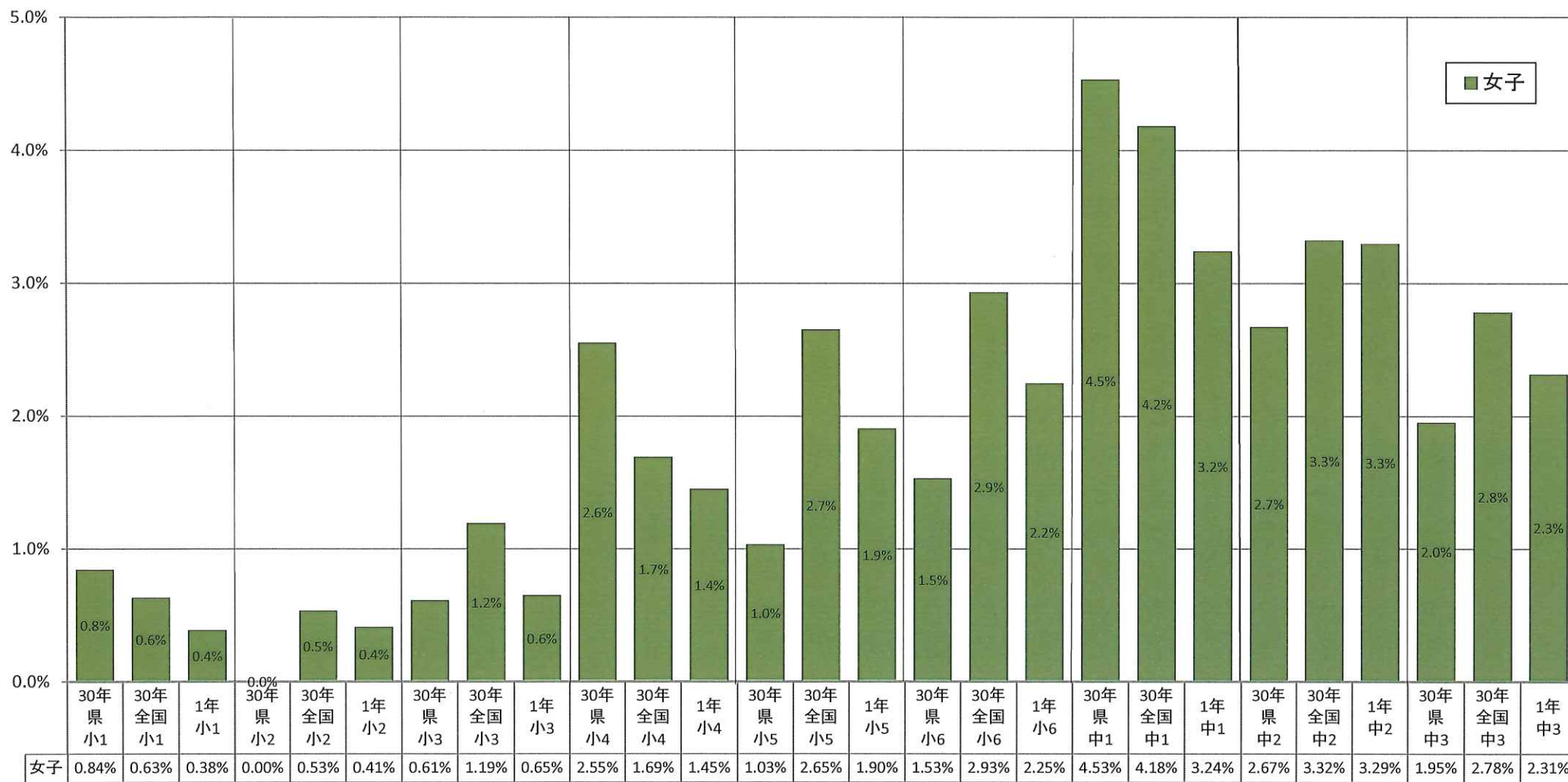
令和元年度学年別やせの全国との比較[男子]

図36



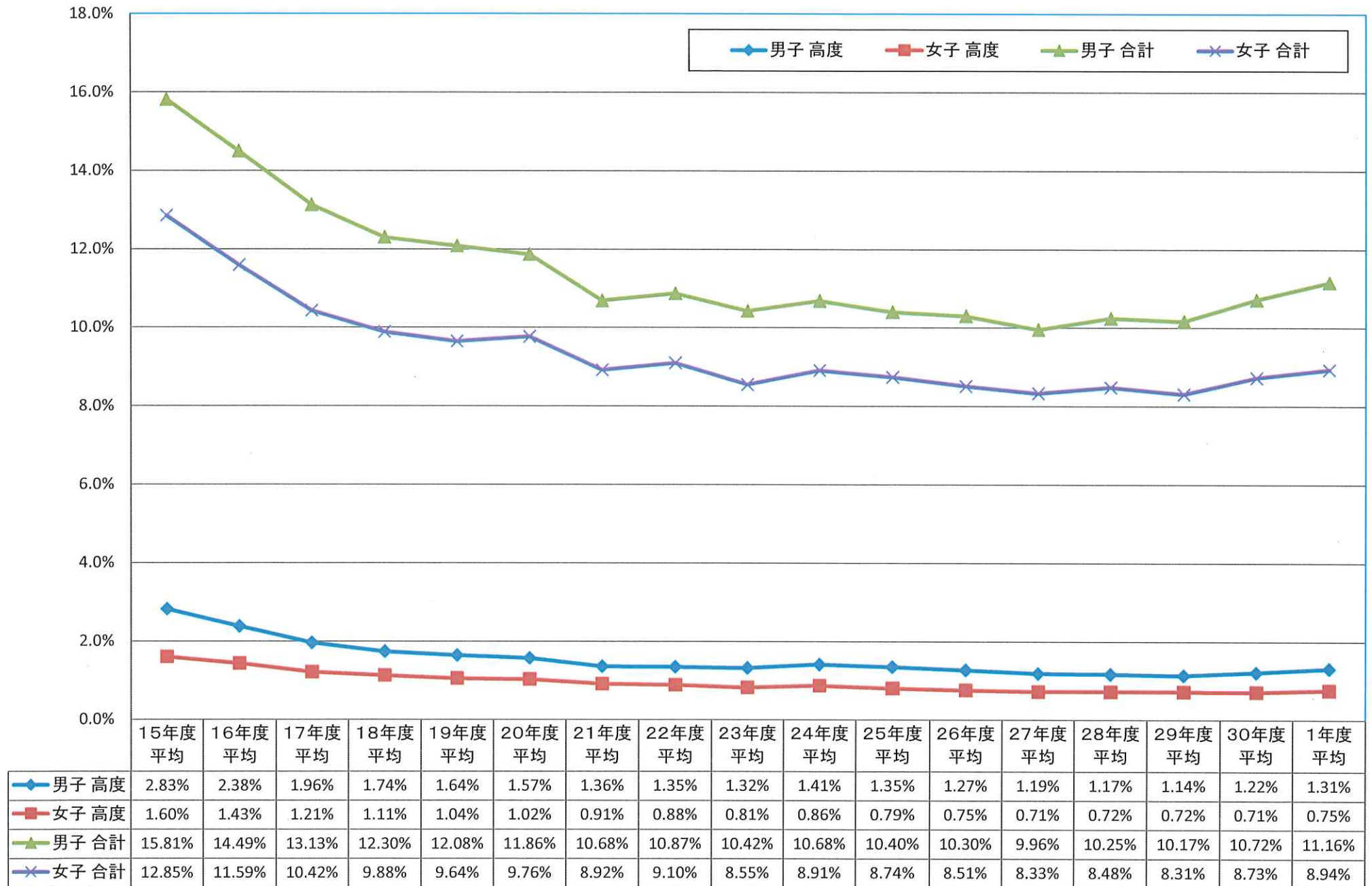
令和元年度学年別やせの全国との比較[女子]

図37



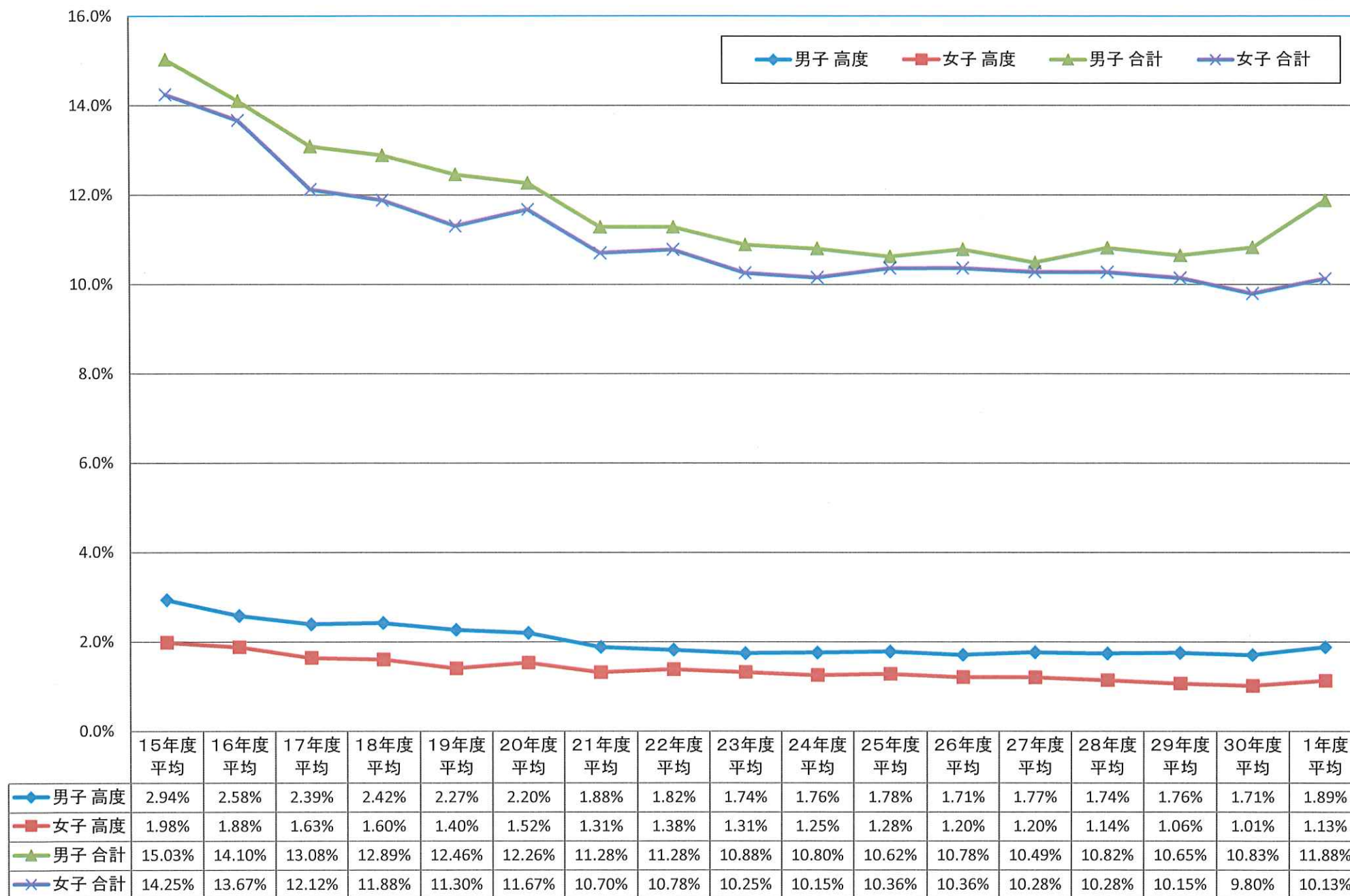
男女別肥満児及び高度肥満児の割合の推移[小学校]

図4



男女別肥満児及び高度肥満児の割合の推移[中学校]

図8



令和元年度 肥満調査結果の考察

平成 14 年度から行っている肥満調査（やせについては平成 16 年度から調査）を、茨城県学校保健会 27 全支部の協力を得て、県内の小学生 144,265 名、中学生 70,903 名、計 215,168 名を対象に実施し、その結果をまとめた。

1. 肥満児について

（1）小学校（図 1, 図 2, 図 3, 図 4）

- ・今年度の割合は 10.08%と昨年度より 0.33 ポイント増加した。今年度は 27 支部中 22 支部で増加が見られた。近年 5 年間で比べると、肥満児の割合は低い支部で 7%台、高い支部で 14%台と差が大きい。
- ・今年度、男子で肥満児の割合が低い支部は、牛久・つくば・龍ヶ崎、高い支部は猿島・大子・坂東(岩井)で、女子で肥満児の割合が低い支部は、つくばみらい・北相馬・つくば、高い支部は猿島・行方・大子だった。
- ・男女を比較すると男子の方が肥満児の割合が高く、男子 11.16%，女子 8.94%だった。今年度も男女ともに肥満児の割合が増加した。
- ・高度肥満児の割合も男子の方が高いが、男子 1.31%，女子 0.75%で男女とも増加した。

（2）中学校（図 5, 図 6, 図 7, 図 8）

- ・今年度の割合は、11.03%と昨年度より 0.7 ポイント増加した。今年度は 27 支部中 18 支部で増加が見られた。肥満児の割合は低い支部で 9%台、高い支部で 14%台と差が大きい。
- ・今年度、男子で肥満児の割合が低い支部は、日立・北相馬・常陸太田、高い支部は稲敷・常総(水海道)・かすみうら(新治)、女子で肥満児の割合が低い支部は、つくばみらい・つくば・石岡、高い支部は結城郡・稲敷・常陸太田だった。
- ・男女を比較すると、男子 11.88%，女子 10.13%で、男子の方が肥満児の割合が高い。今年度は男女とも肥満児の割合が増加した。
- ・高度肥満児の割合も男子の方が高いが、男子 1.89%，女子 1.13%で男女とも増加した。

（3）小・中学校比較（図 9）

- ・中学校の方が肥満児の割合は高く、小学校 10.08%，中学校 11.03%だった。

（4）学年別男女別の年次推移（図 10, 図 11, 図 12, 図 13）

- ・小学生は、小 1 男子、小 5 女子以外すべての学年で昨年度よりも肥満児の割合が増加した。学年が上がるにつれて肥満児の割合が増加する傾向は例年と同じである。
- ・中学生は、中 1 女子は横ばい、中 3 女子は微増、それ以外は昨年度よりも肥満児の割合が増加した。男女とも、肥満児の割合は中 2 で減少し、中 2 から中 3 ではあまり変わらない。

（5）同一集団の 9 年間の経時推移（図 14, 図 15）

- ・同一集団で見ても、男女とも年次推移の結果と同じ傾向であり、学年が上がるにつれ肥満児の割合も増加した後、中 1 から中 2 で減少した。23 年入学児童はその後、男子の肥満度は中 3 で増加、女子は横ばいだった。小 1 から中 3 までの推移をみると男女とも肥満児は増加している。

（6）高度肥満について

① 小学校（図 16, 図 17）

- ・支部別の 6 年間の高度肥満児の平均値の低い支部は、男子で牛久・ひたちなか・北相馬、女子で北相馬・牛久・つくばだった。一方、高度肥満児の平均値の高い支部は、男子で稲敷・結城郡・石岡、女子で大子・かすみうら(新治)・猿島だった。平均は、男子 1.22%，女子は 0.74%だった。

② 中学校(図 18, 図 19)

- ・支部別の 6 年間の高度肥満児の平均値の低い支部は、男子で常陸太田・那珂・水戸、女子で日立・牛久・ひたちなかだった。一方、高度肥満児の平均値の高い支部は、男子で坂東(岩井)・稲敷・石岡、女子で常総(水海道)・かすみがうら(新治)・稲敷だった。平均は、男子 1.76%, 女子 1.12%だった。

③ 同一集団経時推移〔高度肥満〕(図 20, 図 21)

- ・近年 3 年間 (H21 年度入学から H23 年度入学) の同一集団の小 1 から中 3 の高度肥満児の経時推移を見て、小 1 と中 3 の割合を比較すると、男女とも、その割合が中 3 の方が高くなっている。
- ・本調査が始まった頃の H14 年度入学児童は、中 1 でその割合が一番高くなり、中 2・中 3 と減少していた。しかし、近年の児童の推移を見ると、中 3 で再度増加する傾向がみられる。

④ 中 3 肥満児の割合と小 1 肥満児の割合の比較〔同一集団・入学年度別〕(図 22)

- ・小 1 と中 3 を比較すると、肥満児の割合の 9 年間の差は、H15 年度入学の女子を除いて、全ての集団でプラスになっている。9 年間の肥満児の割合の小 1 と中 3 の差は、入学年度によって違いが見られるが、近年 3 年間のデータについて、男女を比較すると、肥満合計・高度肥満とも男子の方が、差が大きくなり、H23 年度入学児童はその差が男女とも増加している。

2 やせについて

(1) 支部別小中別やせの割合 (図 23, 図 24, 図 25, 図 26, 図 27)

- ・小学校は昨年より 0.05 ポイント減少して 1.20%, 中学校は昨年度より 0.04 ポイント増加して 2.73%だった。
- ・小中の割合を比較すると、小学校より中学校の方がやせの割合が高い。
- ・調査開始時からのやせの割合の推移をみると、増加・減少をくり返しながらも調査開始時より小中男女ともその割合は高くなっている。

(2) 支部別男女別やせの割合 (図 28, 図 29)

- ・男女で比較してみると、支部によって男女に違いがみられる。小学校は男子 1.20%, 女子 1.19% でやや減少していた。中学校は男子 2.53%, 女子 2.94% で、女子のやせの割合は減少したが、男子のやせの割合は増加していた。

(3) 学年別男女別の 10 年間の年次推移 (図 30, 図 31)

- ・男子は中 1 までは学年が上がるにつれてやせの割合が増加して、中 2, 中 3 で減少している。
- ・女子は中 2 まではやせの割合が増加して、中 3 で減少している。

(4) 同一集団のやせの 9 年間の経時推移 (図 32, 図 33)

- ・男女とも、小 2 から中 1 にかけて割合が増加し、男子は中 2 で減少するものの中 3 で増加し、女子は中 2・中 3 と減少している。

3 全国平均との比較

(1) 肥満児の割合 (図 34, 図 35)

- ・男女ともすべての学年で全国平均を上回っている。
- ・男子は学年が上がるにつれて全国平均との差が開くが、小 6 をピークに肥満児の割合は減少して全国平均に近づく。
- ・女子も全国平均との差は大きい、中 1 をピークにその後緩やかではあるが、減少傾向がみられた。

(2) やせの割合 (図 36, 図 37)

- ・男子は小1から小6まで、やせの割合は全国平均を下回っているが、今年度は中1で全国平均を上回り、中2、中3はほぼ全国平均だった。
- ・女子のやせの割合は全国平均と同じか、全国平均を下回っていた。

4 まとめと今後の課題

平成14年度から肥満調査を実施してきて、年々順調に減少してきた肥満児の割合は平成19年度頃から減少率が緩やかになり、小学校では隔年で増減がみられる状況であり、9%台を維持していたが、今年度は10%台となった。中学校の肥満児の割合も、今年度は昨年度までの10%台から、0.7ポイント増加し11%台になった。

全国平均と比較すると本県は肥満児の割合が高い。同一集団の経時変化の推移から、肥満の割合は入学後も増加していき、中学校入学後にある程度は減少するが、中3時には小1の時よりもその割合は増加している(図20, 21)。また、同一集団・入学年度別の高度肥満児の中3の割合と小1の割合の差は、調査開始以来全ての年度でプラスになり、高度肥満児は増加し、さらにその差が開いている(図22)。支部別6年間の高度肥満児の割合平均値のグラフ(図16~図19)から、高度肥満児の割合の高い支部と低い支部の並び順は昨年度の同じグラフとあまり変わらない結果であった。高度肥満児の割合を単年度で見ると、年によって違いが見られるが、6年間の平均値で見ると、大きく変わらないことがわかった。

高度肥満の解消の難しさを考えると、今後も就学前の幼児期や小学校低学年での肥満を解消するための対策を講じるとともに、「普通」から中等度肥満の段階で、肥満度が高くなってきた児童・生徒への指導にも目を向けていきたい。今年度も、県内公立幼稚園・こども園にも『小児肥満の予防対策について(依頼)』を配付し、幼児肥満についてや河内町認定こども園の取組などを取り上げ、指導者の意識を高めることにも取り組んだ。今後も、幼稚園や保育所との連携を継続して、幼児期からの肥満対策を進めていく必要があると考える。また、小・中学校では、健康手帳に記載されている肥満度判定曲線や文部科学省から配付された子どもの健康管理プログラムなどの成長曲線も活用していきたい。

また、良い生活習慣を身に付けることが、成人になってからの肥満を防ぐことにつながる。保護者や学校医・学校歯科医・学校薬剤師や行政など、地域関係機関などと連携して取り組む必要がある。食事は3食よくかんで食べる、早ね・早起き、週3日1時間の運動や外遊び、毎日の体重測定など、多職種と連携をしながら生活習慣を見直す手立てを講じて肥満対策への取組をさらに進めていきたい。特に、「睡眠の長さに関係なく、就寝時間の遅れが肥満発生に関連する」、「平日と週末での睡眠習慣の違いが肥満の発生に関与する」という報告もあることから、睡眠の大切さについても理解を促していきたい。そして、肥満児童の生活習慣を振り返る手立てとして、生活習慣記録表の活用や、医療機関への受診を勧めていきたい。

今年度、やせの割合は中1・中3の男子の割合が全国平均を上回る結果になっていた。よりよい生活習慣を身につけ、心身に起こっている変化を見落とさないよう、肥満児と同様、注意して個別に見ていく必要がある。